

普通科 人文社会 130班

集客改革！功を奏するイベントの秘訣



班員 椎葉美月 山田舜介
松井咲空

指導者 大西圭先生
コーチ 上ノ原一道様

研究の動機

宮崎は観光資源が豊富で美しい自然や文化的魅力があるにも関わらず、観光客数が他県と比べて少ないことが気になったため。

研究の目的

宮崎の観光資源の魅力を最大限に引き出して観光客数を増加させるための戦略を明確化し、実際に効果的なイベントを通じて地域活性化に貢献すること。

基本データ

まつり宮崎、えれこっちゃ宮崎ではそれぞれ8万人が来場している。一方で仙台七夕祭りでは3日間で228万人が来場しており、来場客数に大きな差がある。

研究方法

○MRT宮崎放送局へ取材

○アンケート

・延高生対象

・どのようなイベントに参加したいか

・祭りでのお金の使い方 等

○延岡駅まちハロウィンジャック(ハロウィンイベント)、ROCKHACKMAKE(音楽イベント)でシールアンケートをとる

・年齢 …①

・住まい …②

・理想のイベントの時間帯 …③

・イベントの情報源 …④

○各イベントの特徴を調べる

必要な道具

・PC・集めたデータ

・メモ帳

・模造紙

・丸シール

仮説

・高校生がイベントを開くことで注目度が上がり、多くの人が興味を持つのでは？

・年齢層にあったイベントの開催が効果的では？

例:20代の集客が目的
⇒インスタ映えスポットを作る
インフルエンサーを呼ぶ

結果

延岡駅まちハロウィンジャック	①10代以下 46名 ②延岡市内 50名 ③夕方～夜 26名 ④チラシ 21名
ROCKHACKMAKE	①10代以下 6名 ②延岡市内 7名 ③夕方～夜 7名 ④友人に誘われた 9名
延高生対象アンケート	ゴミ箱を設置してほしいという声が多かった。
MRT宮崎放送局へ取材	食中毒や熱中症を考慮して春開催に変更になった。赤ちゃんダッシュの応募は150人で人気の企画。

考察

夏のイベントは熱中症になりやすい。
→・夏季の開催は避ける。
・夜などの気温が低いときに行く。

アンケートの結果から
→開催時間は夜の時間帯が理想である。
・若者層がイベントの関心が高い。
・イベントの情報源はポスター、SNS
・衛生面では、屋台などで出たゴミを捨てられるようゴミ箱設置を増やすべき

参考文献

宮崎日日新聞 2024年『青島観考』
<https://note.com/mivanichi/n/nd73f872e41e1>

謝辞

私達の研究に関わってくれた先生方、のべわく実行委員の皆様、コーチの皆様わかりやすいご指導ありがとうございました。